

北海道には、約1,000kmの高規格幹線道路と約90,000kmの一般道路があります。一般道路のうち、一般国道が約6,000km、道道が約12,000km、市町村道が約71,000kmとなっています。高規格幹線道路の一部と一般国道については、北海道開発局が新設、改築、維持、災害復旧などの管理を行っています。

道路の延長

道路種別	道路延長 (km)					摘要
	全国(A)	北海道(B)	B/A(%)	開発局所管(C)	C/A(%)	
高規格幹線道路	11,638	1,120	9.6	424	3.6	北海道縦貫自動車道 444km 北海道横断自動車道 320km 高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路 96km
高速自動車国道	8,913(954)	764(96)	8.6	76(96)	0.9	
一般国道の自動車専用道路 (本州四国連絡道路を含む)	1,771	260	14.6	252	14.2	
一般道計	1,210,911	89,309	—	6,393	—	
一般国道	52,933	6,393	—	6,393	—	路線数 48 路線
都道府県道	129,603	11,828	—	—	—	路線数 900 路線
主要地方道	57,898	4,537	—	—	—	路線数 163 路線
一般都道府県道	71,705	7,291	—	—	—	路線数 737 路線
市町村道	1,028,375	71,088	—	—	—	路線数 116,170 路線

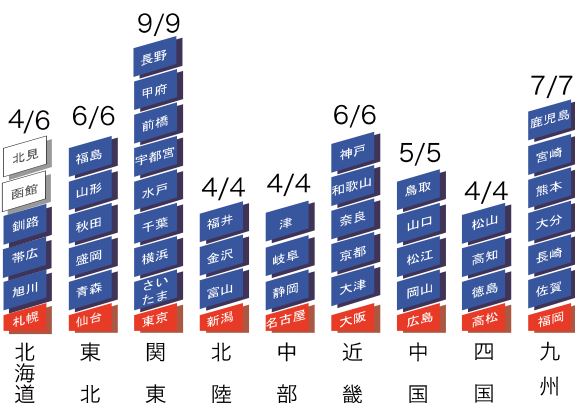
注 ※高規格幹線道路 全国(A)については、平成30年度 道路関係予算概要 国土交通省 道路局・都市局(平成30年1月)、北海道(B)については、北海道開発局資料による。
 ※高規格幹線道路については、平成29年度末の道路延長である。
 ※高規格幹線道路()内は、高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路で外数であるが、高規格幹線道路の計には含まれている。
 ※一般国道、都道府県道、市町村道については、道路統計年報2017(平成28年4月1日現在)による。
 ※端数処理の関係上、各道路種別を合算した数値と計の数値が等しくない場合がある。

高規格幹線道路の整備状況

高規格幹線道路網は、高速交通サービスの全国的な普及や、主要都市、空港・港湾などの主要拠点間の連絡強化を目的とした自動車専用道路です。

昭和62年6月26日の道路審議会の答申に基づき約14,000kmの高規格幹線道路網が決定されました。

高規格幹線道路によるブロック中心都市と県庁所在地等のアクセス状況



高規格幹線道路の開通区間

	(km)	
	全国	北海道
高規格幹線道路の計画延長	約 14,000	1,825
高速自動車国道	—	—
予定路線	11,520	1,375
基本計画	10,623	1,024
整備計画	9,428	889
開通延長	8,913	764
一般国道自動車専用道路 (本州四国連絡道路を含む)	約 2,480	450
高規格幹線道路の開通延長	11,638	1,120

- ◆凡例◆
- ブロック中心都市
 - 県庁等(接続済)
 - 県庁等(未接続)

平成29年度末



◆凡例◆

- 高速自動車国道の開通区間
- 一般国道自動車専用道路の開通区間
- 総合振興局・振興局所在地
- 都府県庁所在地
- 六圏域中核都市

※高速自動車国道には高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路を含む。